

教材名 リピテーション技法	授業名 美術
学部 中学部	
写真（教材、使用場面など）	
	
ねらい	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピテーションの技法を知る。</li> <li>・色の組み合わせや形を、工夫する。</li> <li>・「草間彌生」「アンディ・ウォーホル」の有名な作品を知る。</li> </ul>	
工夫した点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージをもちやすいように「草間彌生」「アンディ・ウォーホル」などの作品を鑑賞してから取り組んだ。</li> <li>・1つの基本となる形を、小さな紙に描いてみてから、画用紙に繰り返し基本に形を描く。</li> <li>・色や形を少しずつ変化させて、オリジナリティを追求する。</li> <li>・絵の具やサインペン、ポスカ、色鉛筆など、作品のイメージに合わせて、柔軟に色を塗る方法を個々に一緒に考える。</li> </ul>	
児童生徒の様子	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「草間彌生」「アンディ・ウォーホル」の作品鑑賞を1日1人の作家に注目して、TV画面に映し出して見ました。とても興味をもって、作品の感想を言いながら楽しんで鑑賞することができていました。2人の作家の名前や作品を覚えて、時間が経っても答えられる生徒が多かった。</li> <li>・有名作家以外にも、生徒のリピテーション作品も鑑賞した。様々な作品を鑑賞することで、より自由な発想で自分の形や色彩を工夫する生徒が多かった。</li> <li>・全員が集中して、制作することができた。</li> </ul>	
その他（材料、作成費用、購入先など）	
画用紙、絵の具、ペン、色鉛筆	